

「震災遺構検討会議 (旧門脇小学校校舎)」の結果概要

平成28年11月29日

旧門脇小学校校舎に関する
震災遺構検討会議(第3回)資料

震災遺構検討会議の議題

第1回

- (1)「震災遺構検討会議」の役割・スケジュール
- (2)「震災遺構整備計画」の枠組み(案)
- (3)旧門脇小学校校舎の現況と震災遺構整備等に関する各種情報
- (4)震災遺構整備等に関する意見・意向

第2回

- (1)第1回「震災遺構検討会議(旧門脇小学校校舎)」を振り返る
- (2)現地視察結果を確認・共有する
- (3)旧門脇小学校校舎の現況と震災遺構整備等に関する情報を共有する
- (4)会議の進め方とスケジュールを確認・共有する
- (5)震災遺構(旧門脇小学校校舎)整備等に関して協議する

意見の振り返り

第1回

- ・意見は、「遺構の活用の仕方」、「校舎の残し方」に関するものが多く、その他に「管理の仕方」や「移設費用」などに関する意見が出された。

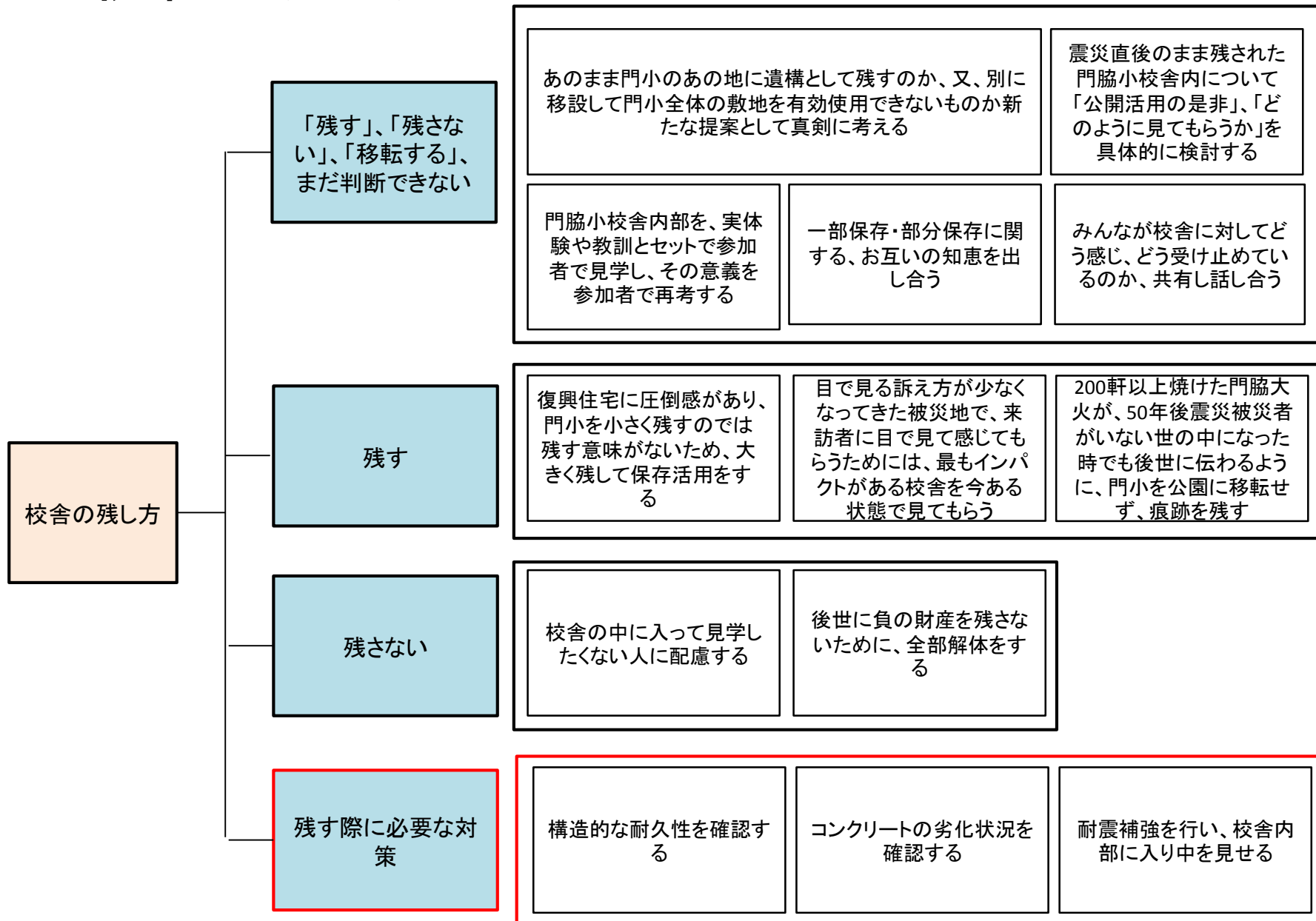
第2回

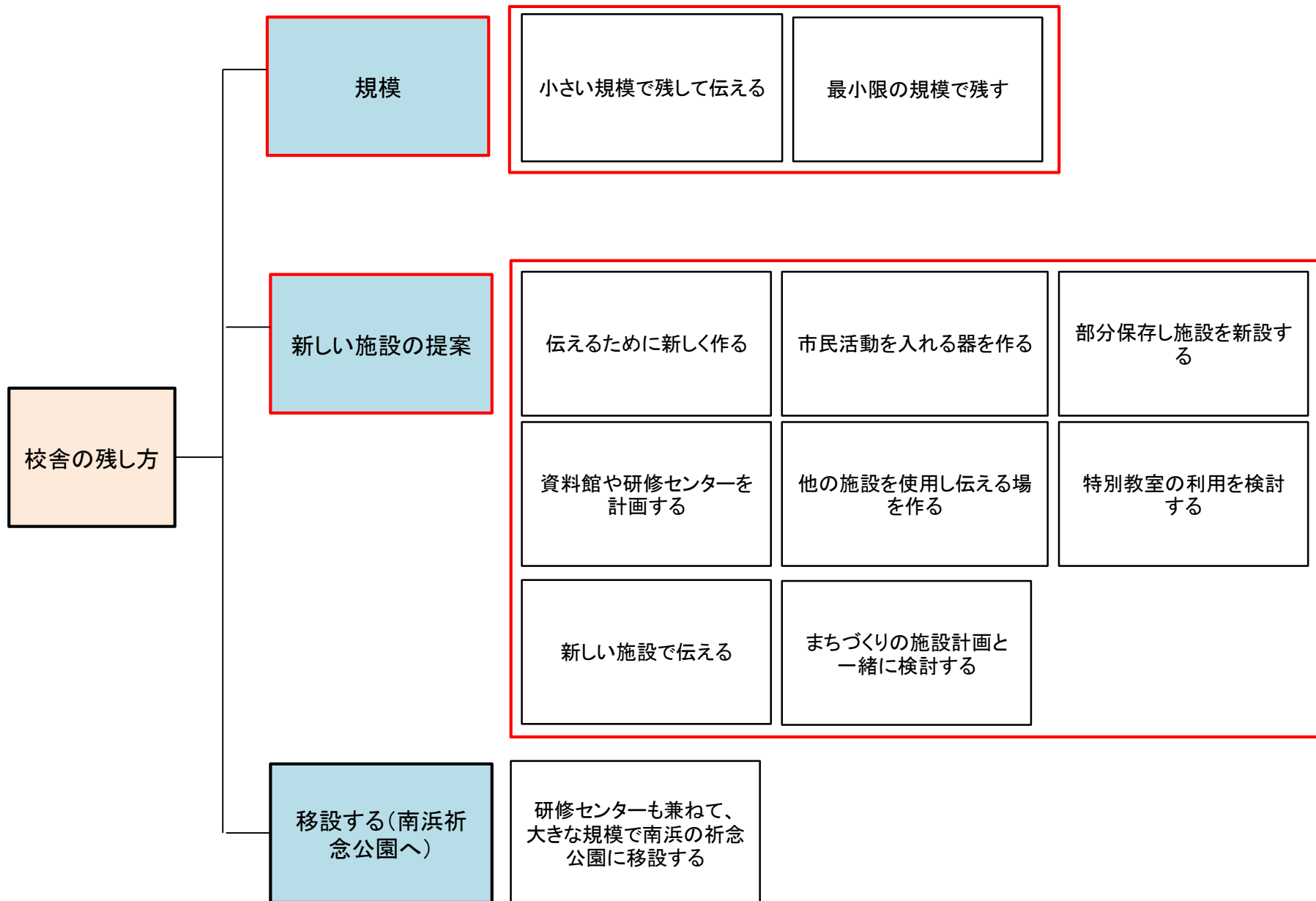
- ・意見は、「新しい施設の提案」、「何を伝えるのか」、「体育館の活用」に関するものが多く、その他に「周辺施設との連携」、「遺構の見せ方」に関する意見が出された。

意見の分類

1. 校舎の残し方
2. 遺構の活用の仕方
3. 遺構の見せ方
4. 管理の仕方
5. 移設費用について
6. スケジュール

1. 校舎の残し方





2. 遺構の活用の仕方

活用の仕方

伝承・教育のための震災遺構にする

きちんとした伝え方をし、これから活用しやすい震災遺構をつくる

50年、100年と経過しても、その思いや物事が永続的に伝わっていくような形にする

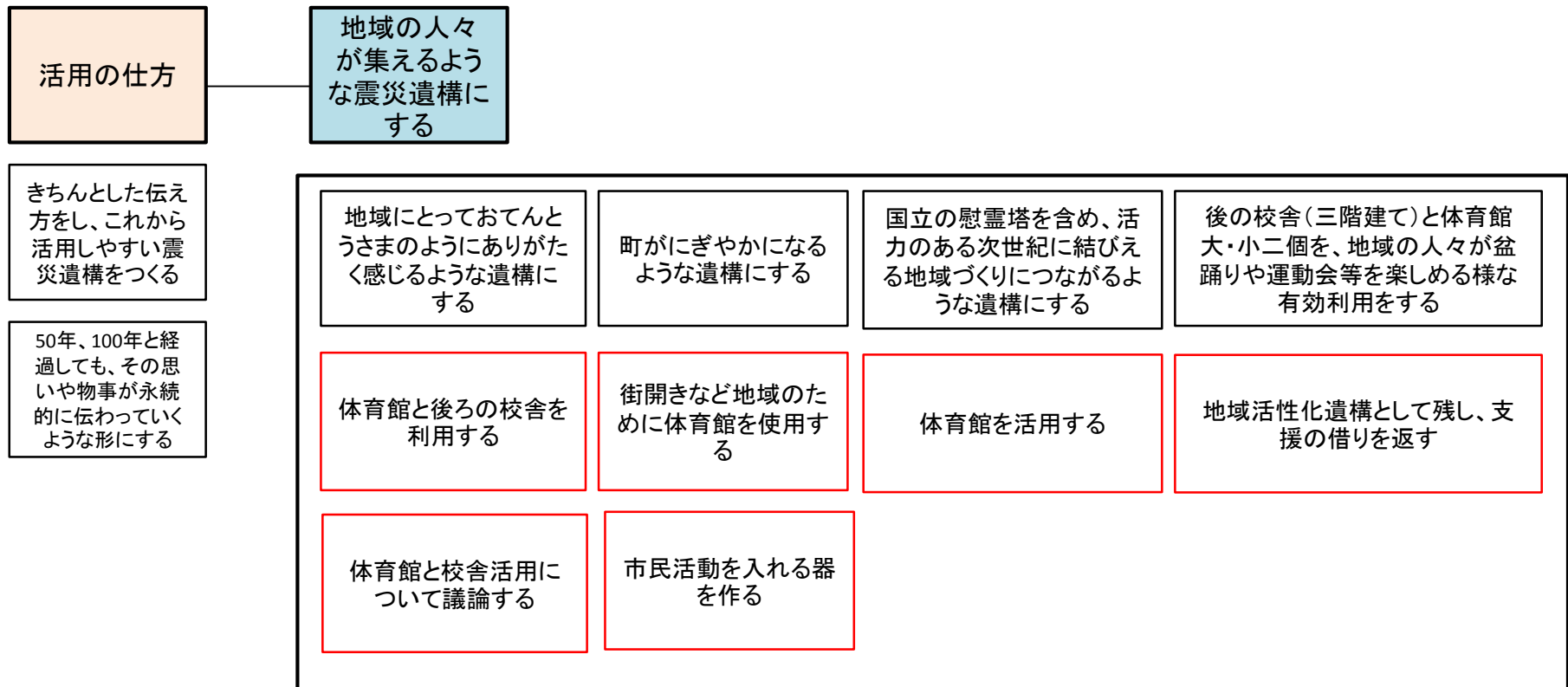
誰に

何を

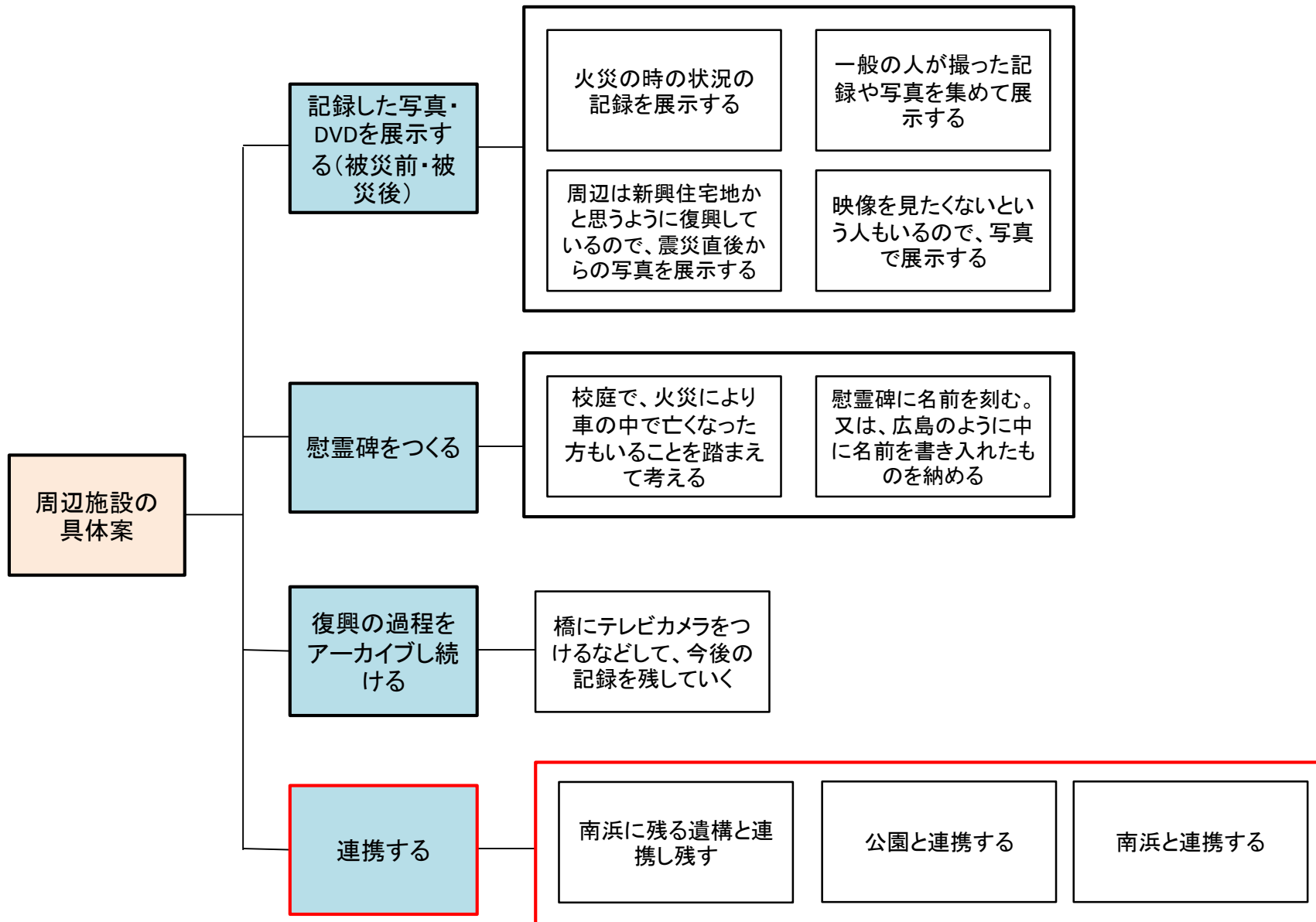
どのようにして

被災地の地域の人々に	被災地以外の地域の人々に	津波の恐ろしさ	被害を最小限に食い止める努力	日常的に思い起こし、語り継ぐことを促すような遺構にする	震災について考え、長く記憶にとどめ、鎮魂につながるような遺構にする
未来の人々に	来訪者に	復旧・復興に向かう姿勢	震災で失われた人命の尊さ	防災・減災意識の醸成を促すような遺構にする	必ず立ち寄って頂けるような遺構にする
子どもたちに	石巻を訪れた人々に	避難に成功した良い事案だけでなく、失敗した最悪な事案	類似災害が発生した場合の対処の仕方、身の守り方	門小に関心・興味を持ち、見ただけで何かを感じて帰って頂けるような遺構にする	

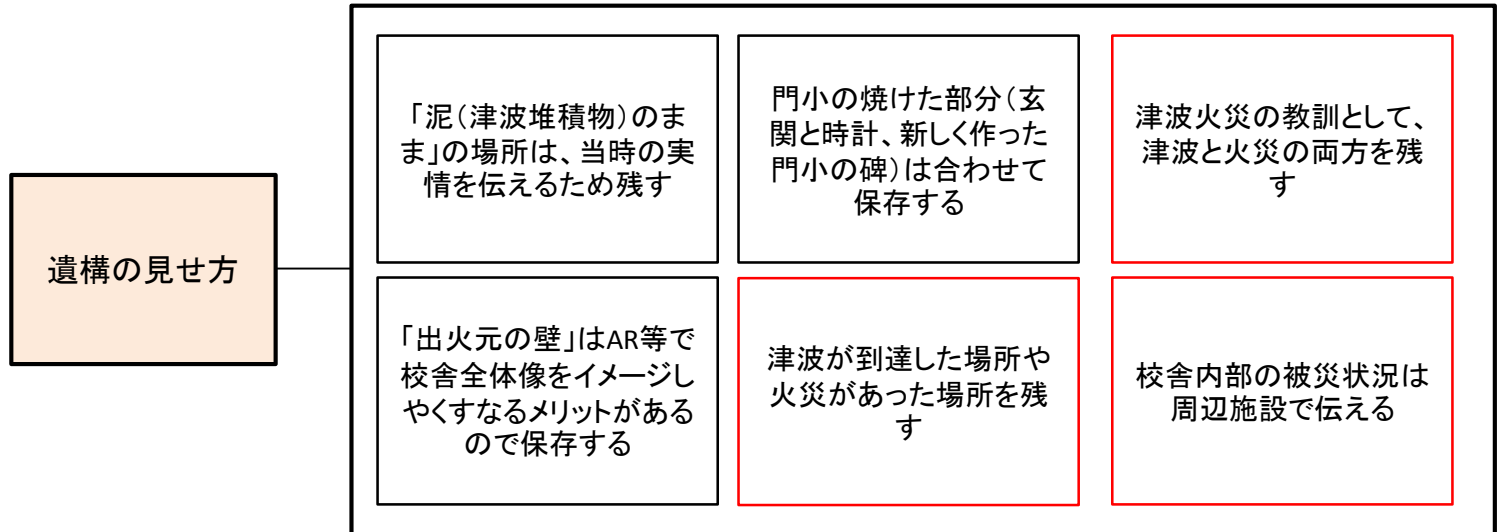
命を守るために人が出来ることを伝える	地域の魅力向上、「場」の記憶の掘り起こしを行う	未来の子供にしっかりと伝える場所にする	当時の大変さを伝える
防災教育のために活用する	防災教育として「逃げる」「生きる」を伝える	防災教育の場として活用する	学校の敷地範囲全てを残す



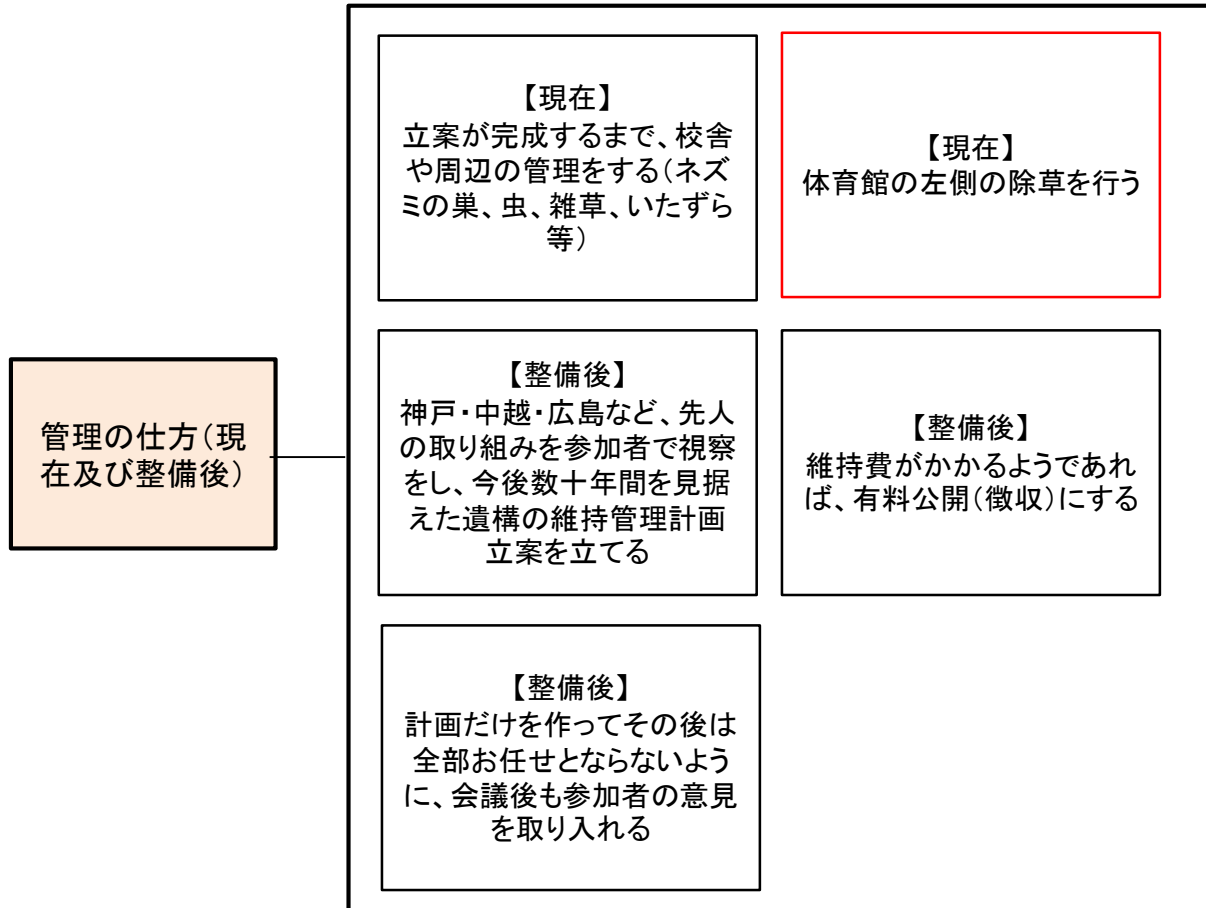
2. 遺構の活用の仕方(周辺施設の具体案) 【結果概要】



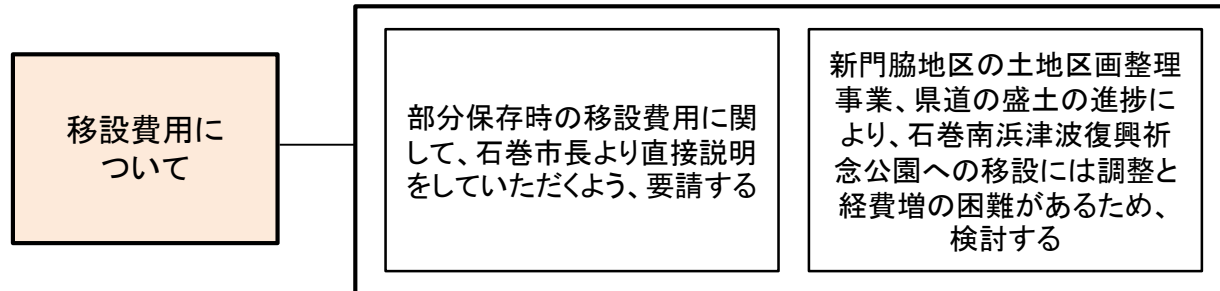
3. 遺構の見せ方



4. 管理の仕方



5. 移設費用について



6. スケジュール

